

学力と人間関係大切に

全国バス学習研究大会報告

岐阜県土岐市立東中学校(岡田校長、生徒数八百八十三人と岐阜西小学校(小崎校長、児童数七百八十四人の両校は、昨十一月七、十二の両日、「豊かさい、豊かさい」をテーマに、第二十四回全国バス学習研究大会(会長・笠原邦巳愛知県春日井市立中部中学校長)を開催した。北は北海道から南は四国まで、全国各地から二日間で開催七百八人の参加者があった。全国バス研は岡田正巳名古屋大学教授を中心に、各地の大学の研究者と、小・中・高校の教師が協同して研究発表を行っている。バス研研究の歴史は古く、すでに三十年近くになるが、現在も熱心に研究が行われている。今回は研究会の一環になった泉西小学校での実践を報告してもらった。

バス学習は人間関係が重要になってきている教育現場において、心算が、学力のある子どもの育成を自覚している。同時に達成を促すもので、小集団学習を意図的に取り入れることにより、学級集団グループのモデルや凝集度を高め、一人ひとりに適切な学力をつけることを目的としている。

また、果敢と個との関わりを心理学的に解明しながら、授業の個別化、個性化を図っている。

本校は昭和五十八年と五十九年に文部省の音楽研究指定を受けて二学級担任が行う音楽

杉江修治 先生

過日は電法ありかとういふいふした

人うはともよろしくの指さよくわらい

四月十七日

苟華高の等字学校 四月三日

授業の個別化図る

豊かな音楽教育目ざす

岐阜県土岐市立泉西小学校の実践

大会を開くに至った。

バス学習は、一部の教壇をグループやパート練習など、

したが、このようにバス研が実践され、大きな成果とな

きたが、このようにバス研が実践され、大きな成果とな

きたが、このようにバス研が実践され、大きな成果とな

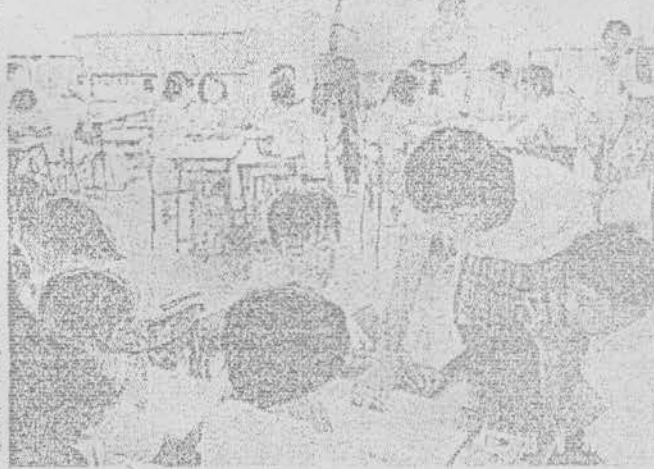
きたが、このようにバス研が実践され、大きな成果とな

きたが、このようにバス研が実践され、大きな成果とな

きたが、このようにバス研が実践され、大きな成果とな

きたが、このようにバス研が実践され、大きな成果とな

きたが、このようにバス研が実践され、大きな成果とな



演奏して楽しいな

この原稿は平成元年度中